

ホルモン投与歴のあるホシガレイ親魚からの採卵

福島県水産種苗研究所
平成18、19年度福島県水産種苗研究所事業
報告書

1 部門名

水産業一種苗研究(開発)一種苗生産、その他カレイ類
分類コード 19-06-19450000

2 担当者

山野辺貴寛・渡辺透

3 要旨

一般にホシガレイの種苗生産においては、安定した採卵を行うために黄体形成ホルモン放出ホルモンのアナログ(LHRHa)を用いた採卵を行っているが、LHRHa投与歴の有無が採卵成績に及ぼす影響について検討した。

- (1)前年にLHRHa投与歴のあるホシガレイ人工5才魚の雌10尾(以下、経投与魚)と、初めて投与する人工5才魚の雌10尾(以下、初投与魚)の計20尾を用い、LHRHaの投与量が体重1kgあたり40 μ gとなるように投与した。投与はLHRHaを含んだコレステロールペレットを作成し、それを背部筋肉中に埋め込むことを行った。
- (2)経投与魚、初投与魚ともに全ての雌から採卵することができた。1尾あたりの平均採卵回数は経投与魚で9.9回、初投与魚で8.5回であった。
- (3)1尾あたりの採卵数は経投与魚で97.6万粒、初投与魚で80.2万粒であった。また、1尾あたりのふ化仔魚数は経投与魚で17.5万尾、初投与魚で15.4万尾であった。
- (4)採卵に用いた雌親魚のうち、8月までに死亡した個体数は経投与魚0、初投与魚1尾であった。
- (5)前年までにLHRHaを投与して採卵を行った魚であっても、繰り返しLHRHaを投与して採卵を行うことが可能であった。

4 その他の資料等

- (1)福島県水産種苗研究所研究報告第4号